



2020年3月期 第1四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2019年8月8日

2020年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹

2019年8月8日

利益が二桁伸長しガイダンス以上のスタート

(億円)

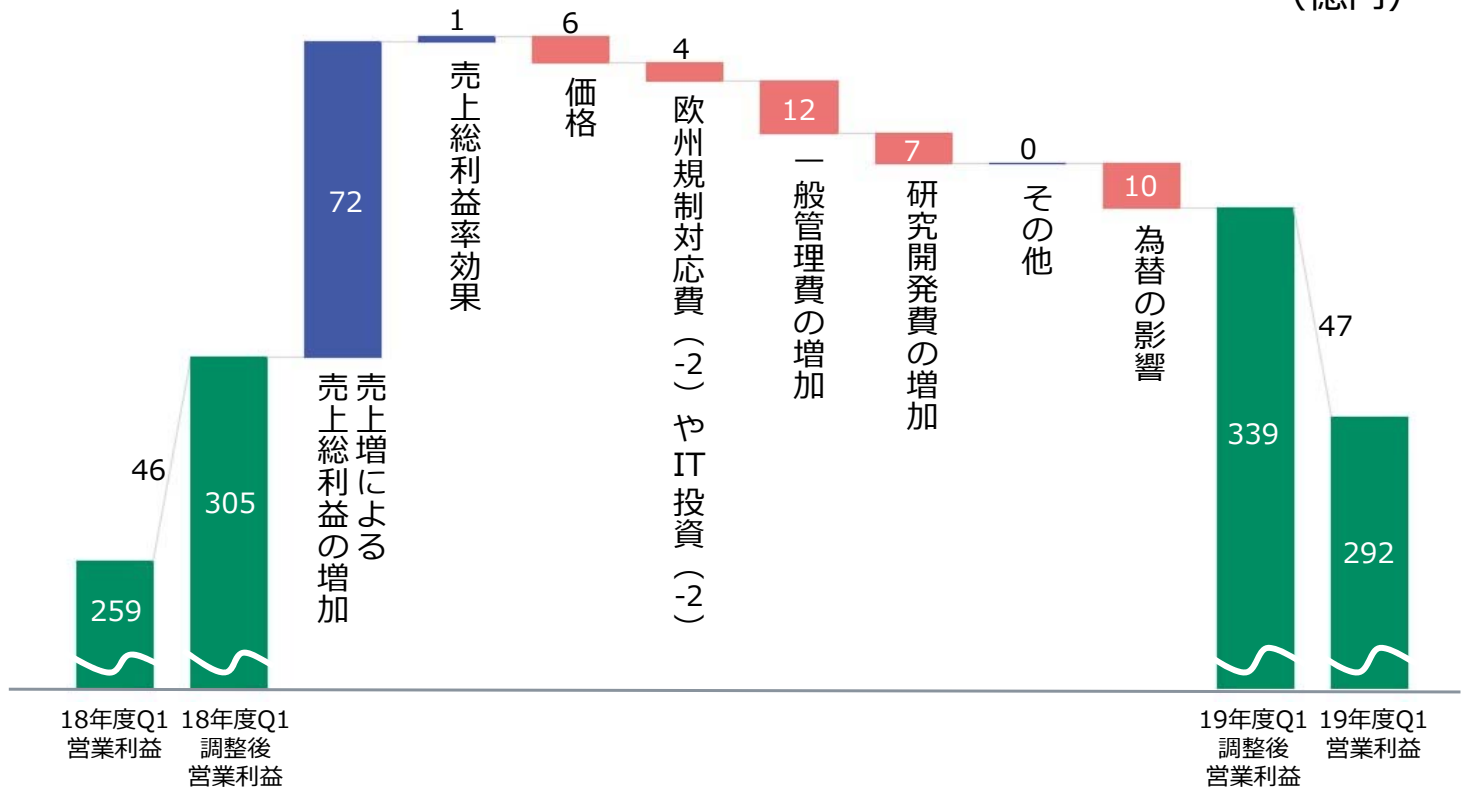
	18年度Q1	19年度Q1	増減率	為替除く 増減率
売上収益	1,430	1,525	+7%	+9%
売上総利益	799 (55.8%)	852 (55.8%)	+7%	+9%
一般管理費	435 (30.4%)	445 (29.2%)	+2%	+4%
研究開発費	113 (7.9%)	118 (7.8%)	+5%	+4%
その他収益費用	8	4	-	-
営業利益	259 (18.1%)	292 (19.1%)	+13%	+17%
調整後営業利益	305 (21.4%)	339 (22.3%)	+11%	+18%
税引前利益	234 (16.4%)	288 (18.9%)	+23%	
当期利益	181 (12.6%)	228 (14.9%)	+26%	

期中平均レート
 USD 109円 110円
 EUR 130円 123円

- 売上収益 : 心臓血管が二桁伸長へ回帰し、全体を牽引
- 調整後営業利益 : 一般管理費を中心に、やや遅めの費用進捗
- 税引前利益 : 前年同期の為替差損23億円に対し、今年度は差損3億円と縮小

調整後営業利益増減分析

(億円)



地域別売上収益

■ 19年度Q1
■ 18年度Q1

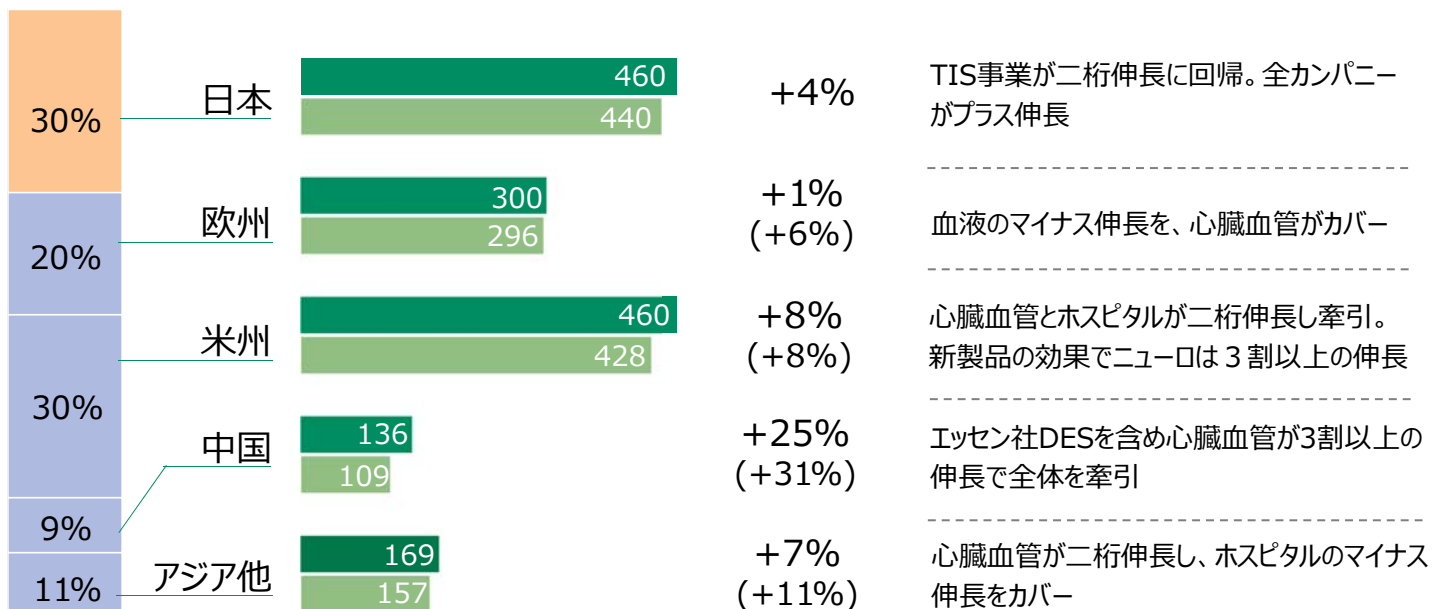
売上収益

100% = 1,525億円

売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

() 内は為替影響除く



カンパニー別売上収益

19年度Q1
18年度Q1

売上収益

100% = 1,525億円



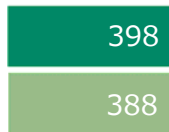
心臓
血管



+11%
(+14%)

TISは二桁伸長へ回帰。3割伸長のニューロと合わせ全体を牽引

ホスピタル



+2%
(+3%)

アライアンス事業がグローバルで3割以上の伸長を継続し全体を牽引

血液
システム



-2%
(+1%)

為替の影響に加え、昨年度末の好調な売上の反動

() 内は為替影響除く

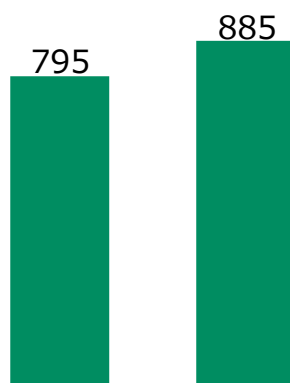
心臓血管：売上、利益ともに二桁伸長

(億円)

	18年度Q1	19年度Q1	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

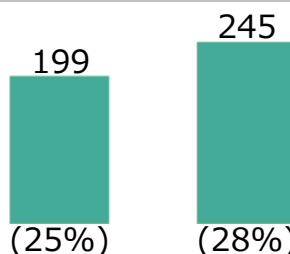
売上
収益



+11%
(+14%)

TIS	: 国内、海外ともに二桁伸長へ回帰	+60
ニューロ	: 3割伸長。米国WEBは好調なスタート	+28
CV	: 国内、1月の公定価再算定の影響	±0
血管	: 国内において順調な直販移行	+2

調整後
営業
利益
(率)



+23%
(+29%)

TISやニューロの売上拡大に加えミックスが改善
費用は僅かに遅い進捗

ホスピタル：概ね計画通りのスタート

(億円)

	18年度Q1	19年度Q1	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上収益	388	398	+2% (+3%)	医療器 : インドネシア皆保険財政難の影響等 医薬品 : 疼痛緩和や癒着防止材が伸長し 輸液剤のマイナス伸長をカバー DM・ヘルスケア: 次期血压計への端境期 アライアンス : 国内外で好調。3割伸長を継続	-3 ±0 -1 +13
調整後営業利益(率)	62 (16%)	52 (13%)	-16% (-15%)	対前年度比は、昨年度稼働したテルモ山口D&D社の償却費の影響。費用が先行する今年度Q1においては概ね計画通りの進捗	



血液システム：売上は僅かにビハインド、利益は計画通り

(億円)

	18年度Q1	19年度Q1	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上収益	246	242	-2% (+1%)	血液センター : 海外を中心に、昨年度末の好調な売上の反動 アフェシス治療 : 後継装置への切替えの反動 細胞処理 : 欧州やアジアで二桁伸長	-4 -1 +2
調整後営業利益(率)	34 (14%)	26 (11%)	-24% (-12%)	為替の影響大。R&D費用の進捗が僅かに早めながらも、概ね計画通りのスタート	



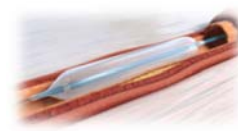
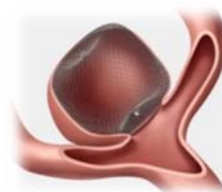
主なトピックス

全社

- 時差勤務制度導入や在宅勤務制度拡充など、働き方改革を推進（4月）
- 新企業理念体系を制定：社員共通の価値観「コアバリューズ」を新設（4月）
- 譲渡制限付株式報酬制度を導入（6月）

事業

- 脳動脈瘤治療用の袋状塞栓デバイス「WEB」を
米国にて本格発売（4月）
- ステントリーバー「Tron FX」、日本で発売（4月）
- 米オーケストラ・バイオメド社から、薬剤溶出バルーンの
独占販売権を取得（6月）



19年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日		医療器	次期シリンジポンプ	日	
心臓	PTCAバルーン	欧亜		医薬品	麻酔用鎮痛剤（フェンタニル注射液）	日	
ペリフェラル	ステント（TRI）	日米			癒着防止材（アドスプレー・ミニ）	日	
脳	袋状塞栓デバイス（WEB）	米	済み	DM・ヘルスケア	持続血糖測定器	日	済み
	中間カテーテル（Sofia EX）	欧米			血糖測定システム	日	
	ミニ・バルーン	欧米			パッチ式インスリンポンプ	日	
	血栓吸引カテーテル	日			次期血圧計	日	
	ステントリーバー	日	済み		次期体温計	日	
CV	次世代人工肺	日		血液	細胞治療用充填・仕上げシステム（FINIA）	グローバル	済み
	人工心肺装置（再出荷）	日					
血管	大口径人工血管（トリプレックス・アドバンスド）	日					

心臓カテーテルの治療製品を拡充

米オーケストラ・バイオメド社から薬剤溶出バルーン 「Virtue」の独占販売権を取得(6月13日発表)



- 薬剤に冠動脈治療用DESに用いられるシロリムスを使用
- 従来品と異なり塗布方式ではなく、独自の薬剤溶出方式を採用。薬剤がはがれるリスクを低減
- 2019年4月、米FDAより「ブレイクスルー機器指定」を取得
- 一時金約3,000万米ドル、500万米ドルの出資 + マイルストーン、販売にともなうロイヤリティ
- 2020年に治験開始。数年後に米国で初の製造販売承認を目指す。グローバル展開を予定

2020年3月期 第1四半期決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2019年3月期 第1四半期累計			2020年3月期 第1四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	7,597	46,997	54,595	8,341	9.8%	52,203	11.1%	60,544	10.9%
ニューロバスキュラー	815	8,286	9,102	853	4.7%	11,011	32.9%	11,864	30.3%
CV	2,420	8,458	10,878	2,283	-5.6%	8,624	2.0%	10,908	0.3%
血管	463	4,495	4,959	669	44.4%	4,515	0.4%	5,184	4.5%
心臓血管カンパニー	11,296	68,239	79,535	12,148	7.5%	76,354	11.9%	88,502	11.3%
医療器	11,767	6,208	17,976	11,754	-0.1%	5,926	-4.5%	17,681	-1.6%
D&D	10,871	-	10,871	10,890	0.2%	-	-	10,890	0.2%
DM・ヘルスケア	5,031	690	5,722	4,932	-2.0%	700	1.4%	5,633	-1.6%
ホスピタルシステム小計	27,670	6,899	34,569	27,577	-0.3%	6,627	-3.9%	34,205	-1.1%
アライアンス	2,495	1,747	4,243	3,630	45.5%	1,921	9.9%	5,551	30.8%
ホスピタルカンパニー	30,165	8,646	38,812	31,207	3.5%	8,548	-1.1%	39,756	2.4%
血液システムカンパニー	2,494	22,100	24,595	2,543	1.9%	21,669	-2.0%	24,212	-1.6%
その他	53	23	76	54	0.9%	-	-	54	-30.9%
計	44,010	99,009	143,020	45,954	4.4%	106,572	7.6%	152,526	6.6%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥109.10)
(EUR1=¥130.03)

(USD1=¥109.90)
(EUR1=¥123.50)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2019年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 第1四半期累計
営業キャッシュ・フロー	12,452	19,221
投資キャッシュ・フロー	△ 10,717	△ 18,680
フリーキャッシュ・フロー	1,735	540
財務キャッシュ・フロー	△ 9,640	△ 11,235
現金及び現金同等物の換算差額	2,990	△ 2,446
現金及び現金同等物の増減	△ 4,914	△ 13,140
現金及び現金同等物の期首残高	167,832	122,982
現金及び現金同等物の期末残高	162,918	109,842

参考情報

	2019年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 第1四半期累計	2020年3月期 業績予想
研究開発費	11,334	11,845	50,000
設備投資額	11,177	18,295	75,000
減価償却費及び償却費	10,569	12,452	49,000
基本的1株当たり当期利益(円) *1	25.39	30.67	109.00

*1 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的1株当たり当期利益」を算定しております。

当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、当四半期末までに一部権利行使による株式への転換が行われました。「基本的1株当たり当期利益」の業績予想については、この影響を考慮して計算しております。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。